

令和5年3月号

# ゆう's ネット

つくり すぐしづつ行こまいか

# ENA

発行/恵那市青少年育成市民会議 第43号



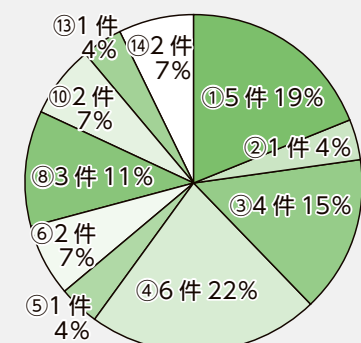
## 見えていますか？街での、子どもたちの姿



恵那市青少年育成市民会議では毎年、青少年健全育成のためのアンケートを実施しています。市内の18歳以下の青少年（小・中・高校生）が、どのような行動を取っているかを知り、生徒指導や警察の見守りに役に立てることが目的です。青少年がよく立ち寄り可能性のある市内店舗などを対象に、青少年の行動について回答していただきました。ここでは、その結果の一部を紹介します。

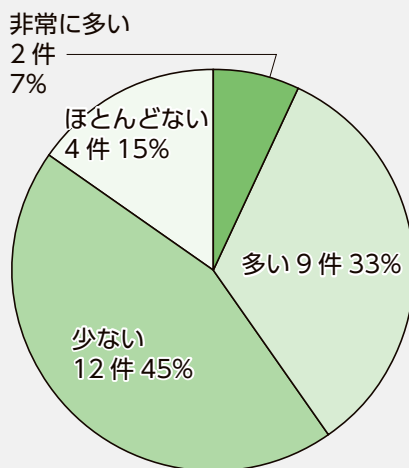
アンケート期間：令和4年7月26日～8月31日 依頼店舗数：72 回答率：37.5%

### 回答があった店舗の業種

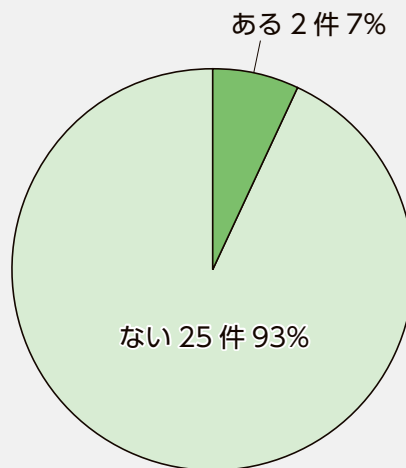


- ① コンビニエンスストア
- ② レンタルビデオ店
- ③ スーパーマーケット
- ④ 書店
- ⑤ パチンコ店
- ⑥ ホームセンター
- ⑦ ゲームセンター
- ⑧ 薬局
- ⑨ 菓子店
- ⑩ 飲食店
- ⑪ 酒屋
- ⑫ 衣料品販売店
- ⑬ カラオケ
- ⑭ その他

### 青少年の店への立ち寄り



### ここ1年ほどで青少年による被害を受けたことがあるか



#### ▽青少年の様子について、いいなと感じること

- レジのマナーが良い。(薬局)
- きちんと列に並んでルールを守っている。(レンタルビデオ店)
- 証明証の提示が正しくできる。挨拶ができる高校生が多く感心する。(鉄道事業者)
- 目的を持って買い物に来る子が増え、特別欲しいものがあるわけでもなくふらりと来る子が減りました。(書店)
- あいさつができる。自転車に乗る時、ヘルメットを着用している。(ホームセンター)
- 部活動後の来店が多いですが、きちんとした対応をしてくれます。大人の態度のほうがかひどい事もあるので、若い子を見習ってほしいと思うこともよくあります。(コンビニエンスストア)



#### ▽気になること

- 時々ですが、高校生の帰り時間になると駅からグループで帰る生徒さんの中には、ちょっと声が大きい方もみえるかな！と思います。(書店)
- まれにアダルトコーナーに入っている子がいる。店内にゴミをすてる。(レンタルビデオ店)
- 休日などに、中高生が居座っていたり、大声で叫んだりしていることがたまにある。
- マナーモードを使用せず音楽を聴く、ゲームをする。(鉄道事業者)



このアンケート結果は、店名など個人情報をふせた上で、市内の小中学校や警察署などに提供させていただき、生徒指導や警察の見守りに役に立てます。

11月  
5日

## 子ども・若者育成支援強調月間街頭啓発活動

11月は、内閣府・青少年育成県民会議・青少年関係団体の主唱による「子ども・若者育成支援強調月間」です。恵那市青少年育成市民会議では毎年、ティッシュやチラシなどを配布する街頭啓発活動と、公園や道路・河川敷のごみ拾いを、市内高校生の有志の方と一緒にしています。

今年度も、11月5日（土曜日）に、市内の大型スーパーマーケットにご協力を得て、出入口付近で啓発活動を行いました。

参加者は、少年センター指導員である恵那保護区保護司会や学校教諭、PTA役員などの皆さんと、有志の市内高校生ボランティアの方々などです。参加者40名の方々が、11月が強調月間であることを積極的にPRしながら青少年支援の啓発チラシが入ったエコバッグを配布しました。また、街への感謝を込めて、近隣の歩道などのごみ拾いも行いました。



## 参加者の感想

高校生ボランティアとして参加した、

恵那南高校3年生 藪下さん（明智会場）

昨年につづき2回目の参加でした。もっとスムーズに配れたら良かったと思ったけど、頑張れました。

恵那南高校2年生 栗下さん（明智会場）

初めての参加でした。青少年を育成するためこういった活動があることを知る機会になり、良かったです。

恵那南高校2年生 松原さん（明智会場）

去年はドンキで活動しましたが、今回は友達と一緒に明智で参加しました。受け取ってくれる方々の優しい気持ちに触れることができました。

11月  
16日

## 自治会青少年育成推進員研修会



恵那文化センターで自治会青少年育成推進員研修会を開催し、130人が参加しました。

第一部は、元NHKアナウンサーの山根基世さんによる「心を若返らせよう」と題した講演会を開催しました。山根さんは、「地域づくりを通して子どもの言葉を育てる活動が大事。一番大切なのは“聴く”こと。聴くことは、相手の存在を認め、丸ごと受け入れること」と話しました。「心を若返らせないと子どもたちと新しい世界をつくっていくことはできない。私たち大人が心を若返らせ、感じる力を持ちましょう」とも話し、来場者は深くうなずいたり、メモを取ったりして真剣に聴き入っていました。

第二部では地域の実践発表が行われ、武並町青少年育成町民会議と岩村町青少年育成町民会議がそれぞれ地域独自の取り組みを発表しました。

11月  
27日

## 青少年育成に貢献した1団体と3個人が表彰を受けました

八百津町中央公民館で行われた岐阜県青少年健全育成県民大会で、青少年の育成に貢献した個人や団体などの表彰式があり、恵那市からは長島町交通・防犯パトロール隊と、恵那保護区保護司会の原要さん、鈴木洋子さん、梅村壮平さんの3人が表彰されました。おめでとうございます。



# 町民会議の活動

## 山岡町

12月4日(日曜日)、山岡農村環境改善センターで「ちよつとよりん祭」と「山岡町芸能文化発表会」が同時開催されました。昨年度に引き続き、コロナ禍で活動が制限される中でも子どもたちの頑張りを見せようと、山岡地域自治区運営協議会が主催となり山岡町芸能文化発表会を企画。地域の方が製作した陶芸、書道、粘土などの作品展や、山岡こども園、山岡小学校、山岡中学校の子どもたちによる発表会が行われました。

山岡こども園園児の遊戯と山岡小学校4年生の「よつちよれ」演舞では、訪れた約550人の観客が音楽に合わせて手を叩いて応援。一生懸命踊るわが子の姿を、カメラやスマートフォンにおさめていました。山岡中学校の生徒は、観客をもてなす呈茶と、ステージでは和太鼓と歌舞伎を披露しました。

歌舞伎は、恵南歌舞伎音楽教室と共演の「義太夫寿式三番叟」と、中学生と中学校教員が出演の「糸桜本町育(仲ノ町の場)」を披露。振り付けは松本団女さん、大道具は山岡歌舞伎保存会が行い、地域が一体となって歌舞伎の舞台を作り上げました。中断を入れない長いせりふも情緒を込めて見事に語り切り、ツケ打ちの音と共におひねりが飛び交いました。



### ～推進員の感想～

音と舞と演技が一度に楽しめ華やかな衣装と化粧が目を引きました。演者の皆さんから感動を頂きました。



## 三郷町

12月10日(土曜日)、旧佐々良木保育園で門松を作りました。子ども11人、保護者4人、役員14人が集まり、講師に教わりながら高さ30センチほどの門松を一生懸命作りました。

子どもならではの独創的な門松や、大人顔負けのクオリティの門松もでき上がりました。

当日は天気も良く、けがなどのトラブルもなく、楽しい時間となりました。それぞれがとてもいい笑顔で作成しており開催してよかったと役員一同話しました。

## 中野方町

1月22日(日曜日)、中野方コミュニティセンターで市民三学 中野方委員会・青少年育成町民会議共催の第14回新春かるた取り大会が3年ぶりに開催され、81名の参加がありました。コロナ禍での開催のため、会場を分散したり手指消毒用ティッシュを使用するなど、感染防止対策を徹底して行いました。

小学生による百人一首の部は21名の参加。中野方かるたの部は、園児(11名)や小学生のグループに大人も入り、仲良く和やかな雰囲気の中でできました。「お話の会やまびこ」による読み聞かせや北中ボランティアスタッフによるビンゴ大会の運営等、役員と参加者みんなで創り上げたかるた大会となりました。



# ピカチュウ

っと光る  
☆☆☆☆ 学生を見つけたよ!

岩  
中

## 佐藤一斎オリジナル商品を開発・販売しました



岩邑中学校3年生44人は、佐藤一斎生誕250年を記念して、一斎や言志四録に関連するオリジナル商品をNPO法人いわむら一斎塾と協働で商品の企画・開発を行ってきました。生徒自ら製造業者とやりとりを行うなど、約1年かけて商品の企画から開発を行いました。オリジナル商品は、ボールペン、食器、菓子の3種類とし、パッケージや説明文、商品に貼るシール、宣伝用のポップも生徒が手掛けました。

ボールペンを開発した生徒を代表して、高山悠さんは「コロナ禍で不安を抱えている人が多いので、一斎先生の言葉で元気になってほしい」、皿と湯飲みを開発した生徒を代表して立花蓮皇さんは「一斎先生の言葉に合わせて食器の色やイラストを考えました」と説明。最中を開発した生徒を代表して鈴木優歌さんが「最中の餡には明智町のリンゴや市内で採れたクリを使用して、地産地消を意識しました」と話しました。

オリジナル商品は、11月19日(土曜日)に恵那文化センターで開催した嘸鳴フォーラムで生徒たちが販売しました。

## 第20回 下田歌子賞 受賞作品が決定

第20回下田歌子賞の受賞作品が決定しました。

下田歌子賞とは、1854年に美濃国岩村藩(現在の岩村町)で生まれた、わが国の女子教育の先駆者で実践女子学園創設者の下田歌子先生をふるさとの先人として顕彰しようと創設された公募賞です。今回のテーマは「夢」。小学生・中高生・一般の3部門に分けエッセイと短歌を募集したところ、エッセイは1,635点、短歌は2,618点の応募がありました。

応募作品は、下田歌子賞実行委員会とPHP研究所での事前選考を経た後、作家の童門冬二さんや東洋大学名誉教授の吉田公平さん、女優で元宝塚歌劇団の初風緑さん、実践女子大学・実践女子大学短期大学部学長の難波雅紀さん、月刊誌『歴史街道』特別編集委員の寺田昭一さん、小坂喬峰恵那市長の6名による最終選考が行われ、受賞作品が決定しました。

ここでは、受賞者のうち市内小中高生の方を紹介します。

### エッセイの部

#### 小学生の部

優 秀 賞	科学は魔法……………	長島小学校6年	金子 和愛
	子ども思いの小児科看護師へ……………	大井第二小学校6年	林 しずく
佳 作	泣き声……………	岩邑小学校6年	秋山 紗祈
	海洋学への夢……………	大井第二小学校6年	可知 舜大
	わたしのゆめは「しょうぼうし」……………	長島小学校1年	可知 美穂子
	猟師になりたい……………	岩邑小学校5年	瀬戸 輝馬
	今わたしができること……………	長島小学校4年	渡邊 琴心
嘸鳴協議会賞	パティシエ……………	長島小学校3年	今井陽菜乃

#### 中高生の部

優 秀 賞	紙とペンと消しゴム……………	恵那東中学校2年	岡田信太郎
佳 作	思いをつなぐ……………	岩邑中学校3年	原 心穩

### 短歌の部

#### 小学生の部

優秀賞	しあわせがとろりとろける チョコパンを わたしがつくる おおきなゆめだ……………	大井第二小学校1年	鵜澤 梨乃
入 選	マスクなし みんなのえがお あそぶこえ うたごえのせて せかいにとどけ……………	岩邑小学校4年	後藤 花菜
	になりたいな ゆめのリニアの じょうむいん みんなをのせて えなを走るよ……………	岩邑小学校3年	水野 悠希

#### 中高生の部 入選

	人生を描くキャンバス まだ白く 染めゆく色に 思いを馳せる……………	明智中学校2年	伊藤 百音
	十七年 お世話になった 故郷(ふるさと)に 恩返しすると 決めた夏の夜(よ)……………	恵那南高等学校2年	栗下 星七

お問い合わせ

恵那市青少年育成市民会議 事務局 恵那市教育委員会事務局 生涯学習課

TEL 0573-26-2111(内線476)